

日韓両国のカトリック看護系大学による協議会を開催しました

2011年11月9日～10日の2日間に亘り、日本及び韓国のカトリック看護系大学による協議会を、福岡市並びに久留米市において開催いたしました。この取組みは、日韓両国よりカトリック精神に基づく看護教育・研究を推進する大学が集う機会として、2009年より発足し、毎年、日本と韓国とを相互に開催地として交流を深め、今年で3回目となります。

今回は、日韓両国の大学等、9施設より関係者が出席し、「生命倫理」教育に関する関連科目について大学院カリキュラムの比較検証や、今後の大学間連携の在り方等について、活発な意見交換が行われるとともに、本学の関連施設である米国の St. Francis Hospice とネット回線を繋いで、“Grief Care” に関するカンファレンスが行われました。

また、今回の協議会では、東日本大震災に関する報告がなされ、韓国からの復興支援に対する謝意を含め、記録映像（DVD）の紹介や、本学としての支援への取組みについての報告がなされました。

協議会は、盛会のうちに全日程を終了し、今後、将来的な連携方策の具体的検討へ向けた関係性強化を図っていくことの申し合わせを行い、再会を祈念いたしました。

